



2012-2013 年度

国際ロータリー会長 / 田中 作次  
2690地区ガバナー / 森田 昭一郎

会長 / 黒田 昌弘  
副会長 / 飯塚 大幸  
幹事 / 釜屋 治男  
会計 / 河原 治子

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
2月21日	クラブ協議会	創立40周年全体会議
2月28日	会員 小汀泰之	新入会員スピーチ
3月7日	会員 板垣文江	新入会員スピーチ

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
40	29	11 (3)	78.38 %	88.89 %

欠席者

大島治 / 小汀 / 大谷 / 恒松 / 桐原 / 園山 / 杉原 / 石原  
(山根 / 牧野 / 木村)

来訪者

なし

メイクアップ

なし

次回例会受付当番

(3月7日) 加藤喜久 / 伊藤義徳 / 加藤 昇

(3月14日) 遠藤 栄 / 清原正幸 / 来間 久

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	松江南
火	出雲	松江しんじ湖
水	大社	松江
木		松江東
金	出雲南	

会長挨拶

ロータリアンの寄付

ロータリー財団プログラムの財源は、世界中のロータリアンをはじめ、財団支援者の方々の任意の寄付によって成り立っています。ロータリアンは、教育的、職業的、人道的プロジェクトの大きな使命を果たした時、より良い世界を築くにはロータリー財団への財政的な支援が不可欠だということを理解します。財団によせられた寄付金は、年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金、ロータリー平和センター、承認された財団補助金のいずれかを支援します。

また、ロータリー米山記念奨学会については、日本の文化、日本の心を世界各国からの留学生へ伝え、世界の平和と発展に貢献する事業です。寄付金収入のうち、83%が奨学金に使われています。

これらの寄付金については、法人・個人とも税制上の寄付金控除の対象になります。

幹事報告

1. 土江光二様の入会式は次週行います。
2. IMご出席の方よろしくお願ひ致します。

スマイル

佐々木 (2月17日(日)未来の夢計画セミナーの際には飯塚大幸会長エレクト、加藤昇次年度ロータリー財団委員長には大変お世話になりました。)

スピーチ・例会行事

クラブ協議会 創立40周年全体会議  
「平田RC 40周年計画(案)」

1) 記念式典について(決定)  
期日 2014年(平成26年)4月13日(日)  
場所 ホテルほり江にて

2) 記念講演会について(案)  
案1) 「東日本大震災からの復興(仮)」  
陸前高田市・慈恩寺住職 古山敬光師

3) 記念事業(案)  
案1) 向陽中学校へ樹木の寄贈  
(1) 楷(かい)、(2) 栴檀(せんたん)、(3) 菩提樹(ぼだいじゆ)  
案2) 向陽中学校へ記念石碑の寄贈  
案3) 一畑薬師マラソン大会へ、被災地のランナーを招く



平田RC 創立40周年 実行委員会 組織表				
会長: 飯塚大幸、副会長: 内田節夫、幹事: 佐々木哲也				
委員長: 大島卓爾、副委員長: 飯塚詔夫、幹事: 横野良文、会計: 黒田昌弘				
部会名	部会長	副部会長	部会員名	職務分掌
総務	加藤 昇	河原 治子 黒田 昌弘	伊藤 義徳 大島 治 内田 節夫 小村 益造 園山 繁	基本方針、全体予算、プログラム関係案内状作成・発送、参加者の把握、その他全体にわたる事項の調整
式典	田中 浩史	高砂 明弘 清原 正幸	恒松 克己 石原 輝男 大谷 孝 園 裕 小汀 泰之 板垣 文江	会場設営、演出進行(式典プログラム)式典・記念講演・来賓接待その他式典に関する一切こと
祝宴	持田 稔樹	原 泰久 来間 久	加藤 喜久 牧野 昭雄 遠藤 栄 福田 磨寿穂 持田 祐輔 曾田 敏康	懇親会の企画運営 会場設営、料理・飲み物の手配、演出進行、会場案内看板、席札(席次表)作成、来賓接待、その他祝宴に関する一切のこと
記念事業	堀江 卓男	田中 久雄 釜屋 治男	原 孝士 山根 章一 桐原 善行 杉原 朋之 木村 文彦 三好 洋平	記念事業及び記念事業に関する一切のこと・記念誌

資料の説明をいただき、のちに各部会にてそれぞれの内容を検討する初めての場となりました。

